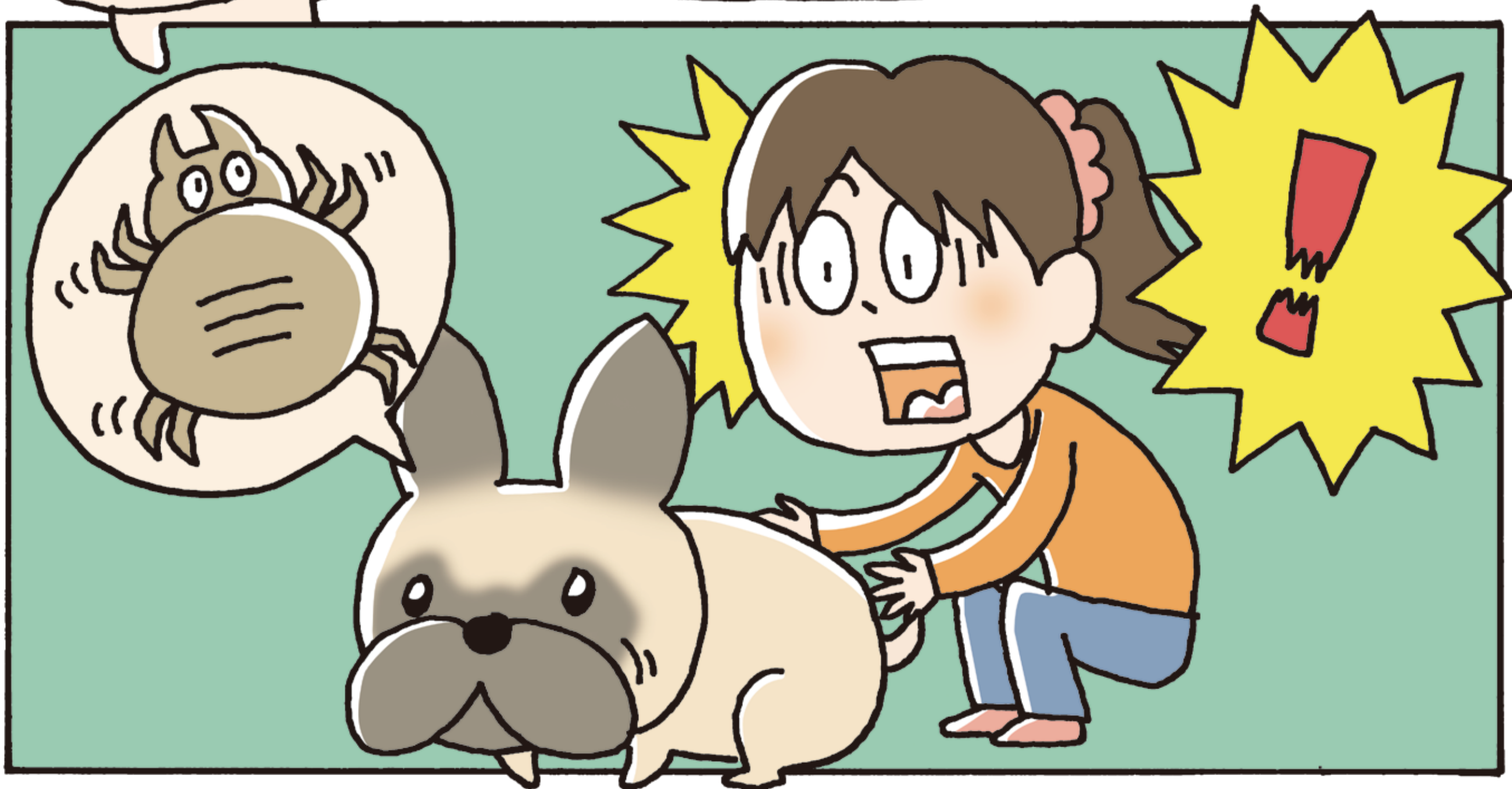


マダニに注意 ダニヤン!!



予想**ダニ**しない
場所に潜んでいる
ワン!



ペットが感染すると
ヒトに感染する感染症が
あるから
注意**ダニ**ヤン!

【ダニが媒介する感染症】重症熱性血小板減少症候群(SFTS)・ダニ媒介脳炎・日本紅斑熱・つつが虫病・ライム病 など

ダニに刺されないポイント



- 肌の露出を少なくする
- 明るい色の服を着る
- 虫除け剤を使用する

野外活動後は入浴し、ダニに刺されていないか確認しましょう。特に、わきの下、足の付け根、手首、膝の裏、胸の下、頭部(髪の毛の中)などに注意しましょう。

ダニに刺されたときの対処法

- 無理に引き抜こうとせず、医療機関(皮膚科など)で処置(ダニの抜去、洗浄など)をしてもらいましょう。
- ダニに刺された後、数週間程度は体調の変化に注意をし、発熱等の症状が認められた場合は医療機関で診察を受けてください。

ペットのダニ対策

- ダニ駆除剤の使用等について獣医師に相談。
 - ペットが外から帰宅したらダニがついていないか確認。
 - ダニが皮膚に食い込んでいる場合は動物病院へ。
- ※ペットを介して、庭や屋内にダニが持ち込まれることがあります。

受診時に伝えること

- ①ダニに刺されたこと
- ②野外活動の日付
- ③場所
- ④発症前の行動



ダニ媒介感染症 厚生労働省

※各地域のダニ媒介感染症の状況については各自治体HPも参考にしてください。



「ダニ」にご注意ください



山や草むらでの野外活動の際は、ダニに注意しましょう



春から秋にかけてキャンプ、ハイキング、農作業など、山や草むらで活動する機会が多くなる季節です。

野山に生息するダニに咬まれることで

重症熱性血小板減少症候群(SFTS)、ダニ媒介脳炎、日本紅斑熱、つつが虫病、ライム病などに感染することがあります。

ダニに咬まれないためのポイント！

●肌の露出を少なくする

⇒帽子、手袋を着用し、首にタオルを巻く等

●長袖・長ズボン・登山用スパッツ等を着用する

⇒シャツの裾はズボンの中に、ズボンの裾は靴下や長靴の中

●足を完全に覆う靴を履く

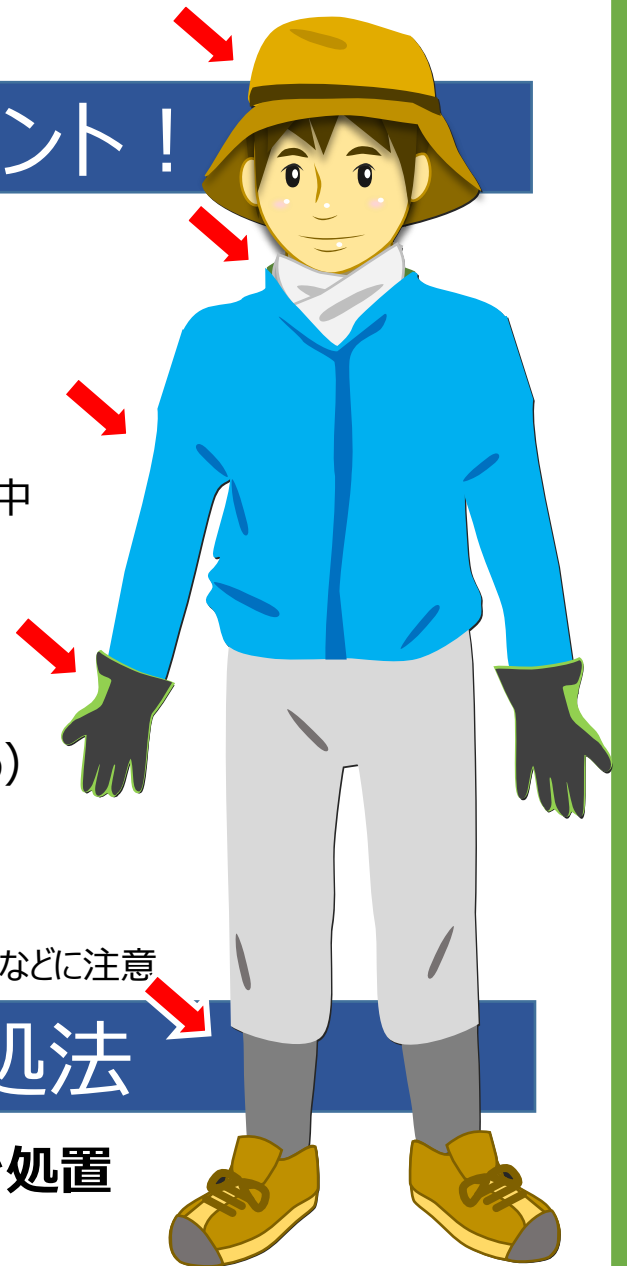
⇒ サンドル等は避ける

●明るい色の服を着る（マダニを目視で確認しやすくするため）

* 上着や作業着は家の中に持ち込まないようにしましょう

* 屋外活動後は入浴し、マダニに咬まれていないか確認をしましょう

特に、わきの下、足の付け根、手首、膝の裏、胸の下、頭部（髪の毛の中）などに注意



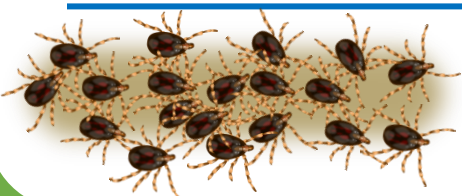
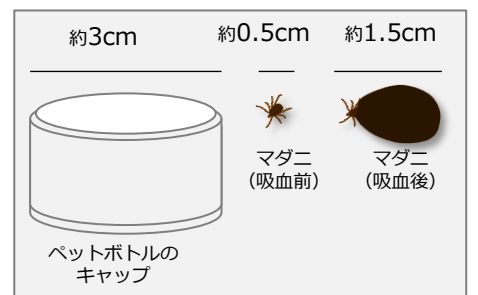
ダニに咬まれたときの対処法

●無理に引き抜こうとせず、医療機関（皮膚科など）で処置（マダニの除去、洗浄など）をしてもらいましょう。

●マダニに咬まれた後、数週間程度は体調の変化に注意をし、発熱等の症状が認められた場合は医療機関で診察を受けて下さい。

【受診時に医師に伝えること】

①野外活動の日付け、②場所、③発症前の行動



ダニ媒介感染症（厚生労働省）

各地域のダニ媒介感染症の状況については各自治体HPも参考にしてください

